

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	児童発達支援事業所 からふる	公表日	2025年 3月 20日
------	----------------	-----	--------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		職員の立ち位置や支援の際の職員の配置。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		指導室がとても広く窓も大きくて見渡しが良いので過ごしやすい。 活動に集中しやすいよう、物はできるだけ少なく視覚的にも隠す工夫がしてあると思う。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		玩具や室内の消毒をこまめに行う。 一日の活動を通して指導室で主に過ごすので、静も動もどちらでも過ごしやすい空間だと感じる。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		午睡や休息を取りたい子に静かな環境の部屋を2部屋設けてスヌーズレンを行っている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		毎日振り返りの場を設けている。話し合いを行い支援方法を共有している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		日々努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		日々、業務後に意見交換する時間が設けられている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6		コンサルタントにアドバイスをもらっている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		研修はとても勉強になっている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		職員間で話し合いの後、課題や問題点をあげている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			職員全員が参加できる会議を増やしていく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		運動遊びもサーキットだけでなくかけっこを入れたりマット運動を入れたり充実させていきたい。	活動プログラムの一覧を作成する。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		活動のねらいや支援についての話し合い。振り返りを共有したり朝のミーティングで一日の流れ、活動の目的、ねらいなど動きも共有している。行事やねらいが組み込まれている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		日々の振り返りが記録されており、自分が休みであった日も状況が紙面で確認できる。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		自治体や地域の関係機関の見学もあり、連携を密にしていきたい。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		保護者や相談員を通して共有している。	今後行っていきたい。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	1	今後機会を設けていきたい。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	3	イベントや散歩で出会うことがある。今後取り組んでいきたい。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		登所時や降所時に会話をする場を設けてその日の様子など伝達している。連絡帳や送迎時に日々の状況を伝達できている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	今後開催していきたい。		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	登所時、降所時に聞いた悩みなどは即返事はせず職員間で共有して話し合いを行ってから返答をしている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	参観日は設けているが保護者同士の交流の機会はない。	参観や送迎で交流の機会はあるが今後取り組んでいきたい。参観は行っている。保護者同士が話せる機会を作っていきたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	お便り、からふる通信、インスタグラム、毎月の写真配布、リタリコブログ、玄関ポスターなど、内部はもちろん外部の方々へも情報発信を行っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	内外の写真の可否など含め十分留意している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	登所時、降所時にわかりやすく保護者様に伝えることができるよう日々努力している。利用児にも伝え方に気をつけ支援を行っている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。	6	からふるフェスタを開催して地域の方々を招くイベントを過去に開催してきたが、今年は2回のWAMと合同で行った、また、からふるでのイベントを考えていきたい。	今後イベントなども開催していきたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	定期的に行っている。今後も続けていきたい。想定した避難訓練を実施できている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	情報を共有してどの職員でも対応できるようにしている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	報告書に記入して再発防止に向けて職員間で共有している。事例をあげて議事録化している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	委員会を、研修なども行い未然防止に努めている。研修や委員会などしっかり時間をかけて職員で考えている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	対象の子どもがいない。		